

日本ユニシスグループ
分野別 2016年度
CSRパフォーマンス報告

Webアーカイブ
コミュニティへの
参画及び発展

- 社会貢献活動方針・制度
- NPO・NGOとの協働
- 地域との連携
- コミュニティとのかかわり

Foresight in sight

社会貢献活動方針・制度

社会貢献活動方針

1. ICTサービスを通じて人と環境にやさしい社会づくりに貢献します
2. 社会の期待と要請に対する感性を磨く人材育成の一環として、社員によるボランティア活動などの自発的な社会参加を支援します
3. ステークホルダーの声に真摯に耳を傾け、コミュニティに参画し、コミュニティの発展に寄与します

活動の評価

「社会の視点」と「日本ユニシスグループの視点」から活動进行评估するとともに、地域コミュニティや寄付先、活動パートナーと積極的に意見交換を行い、今後の取り組みに活かしていきます。

社会貢献活動休暇・休職制度

社会貢献活動休暇	連続または分割して月に5日、年に12日以内
社会貢献活動休職	原則1か月以上2年以内

NPO・NGO との協働

NPO・NGOと社員との意見交換・合同プログラム

日本ユニシスグループ社会貢献クラブ「ユニハート」の寄付先団体の方と社員が直接対話する会を定期的に開催しています。

2016年7月に、日本ユニシスグループの新入社員を対象に、さまざまな形の「コミュニケーション」をテーマに体験講座を実施しました。実施にあたっては、日本ユニシスグループ社会貢献クラブ「ユニハート」の寄付先から、次の3団体にご協力いただきました。

- ・NPO法人 視覚障害者パソコンアシストネットワーク (SPAN) 様「言葉のみで伝える体験」
- ・バリアフリー映画鑑賞推進団体 シティ・ライツ様「音声ガイド付き映画体験」
- ・認定NPO法人 東京盲ろう者友の会様「音声を使わず伝える体験」

新入社員にとって、コミュニケーションについてあらためて深く考える機会になったばかりでなく、さまざまな社会課題について考えるきっかけとなりました。



文字を手のひらに書いて伝える体験



言葉のみで伝えあう体験

イベントを通じた交流

年間を通じて実施するイベントで、様々な団体と関わりを持ち、協働しています。

1. 盲導犬イベント

日本盲導犬協会および盲導犬総合支援センターに協力いただき、毎年、盲導犬啓発教室および盲導犬チャリティグッズ販売会を実施しています。盲導犬や盲導犬の育成について、また、街で視覚障がい者の方や盲導犬に出会ったときにできることなどを学ぶ機会となっています。

2016年度は全国5ヶ所で盲導犬チャリティグッズ販売会を実施しました。



盲導犬との歩行体験

2. ステナイ生活キャンペーン

全国のグループ社員の協力で読み終わった本や書き損じハガキなどを集め、社内向けのチャリティ販売会や換金による収益をシャプラニール＝市民による海外協力の会に寄付、国際協力や震災復興支援に役立てる「ステナイ生活キャンペーン」を毎年実施しています。チャリティ販売会では、寄付先NPO等の活動紹介を実施。交流と気づきの場となっています。



チャリティ販売会風景

3. チャリティ販売会

2016年10月6日(木)7日(金)、日本ユニシス株式会社本社ビル(東京都江東区)において、熊本地震の復興支援、地域貢献、国際協力などを目的に「チャリティ販売会」を実施しました。当日は熊本からの参加団体を含む多くの団体の方に参加いただきました。会場ではフェアトレード商品の販売や、熊本地震の被災状況のパネル展示、団体の活動紹介等も行い、社員にとってさまざまな社会課題についての気づきの場ともなりました。

2016年度活動一覧

日付	内容	開催場所	団体	備考
2016年 4月～6月	熊本地震被災地支援（募金・社員ボランティア）	本社及び支社店		熊本地震被災地復興支援
2016年6月	新入社員向け体験講座	豊洲文化センター	シティ・ライツ、視覚障害者パソコンアシストネットワーク、東京盲ろう者友の会	NPO等連携 （質の高い教育をみんなに）
2016年9月	チャリティ社内販売会	本社	「ユニハート」2015年度寄付先NPO等15団体、お買い物で熊本を応援する未来復興プロジェクト、第三あすなろ作業所、のびのび作業所フーズ	地域貢献、国際貢献、障がい者支援、東日本大震災復興支援、熊本地震復興支援、NPO等連携
2016年11月	川島成道チャリティコンサート	豊洲シビックセンターホール	日本盲導犬協会、盲導犬総合支援センター	地域貢献、障がい者支援、NPO等連携
2016年12月	盲導犬チャリティグッズ販売会	九州支社	盲導犬総合支援センター	障がい者支援、NPO等連携
2016年12月	チャリティ社内販売会	北海道支店	札幌市手をつなぐ育成会	地域貢献、障がい者支援、NPO等連携
2016年12月	盲導犬チャリティグッズ販売会	中部支社	盲導犬総合支援センター	障がい者支援、NPO等連携
2016年12月～2017年3月	ステナイ生活キャンペーン（古本等の収集）	本社及び支社店	シャプラニール＝市民による海外協力の会	国際貢献、NPO等連携 （貧困をなくそう） （質の高い教育をみんなに） （ジェンダー平等を実現しよう）
2017年2月	盲導犬ふれあい教室＆盲導犬チャリティグッズ販売会	本社	日本盲導犬協会、盲導犬総合支援センター	NPO等連携
2017年3月	盲導犬チャリティグッズ販売会	中部支社	盲導犬総合支援センター	NPO等連携

地域との連携

地域ネットワークへの参加

江東区に事業所がある企業・大学などが集まる、「江東区社会貢献ネットワーク」(こらぼら)に参加し、「江東区における社会貢献活動の活性化」をテーマに活動を行っています。定例会での情報交換を行う他、地域の合同清掃、江東区民まつりなどの区内イベントに合同で参加しています。



地域のクリーン活動

社員有志の「豊洲キレイにし隊！」が、昼休みを利用して定期的に清掃活動を行っています。近年はその輪が広がり、豊洲地区の企業・団体のみなさまとの一斉共同清掃に発展しています。2016年6月には2016年度の新入社員が3日間に分かれて清掃活動を行ない、年間でのべ153名の社員が参加しました。

また、中部支社での堀川清掃など、支社支店でもさまざまなクリーンアップ活動を行っています。



本社周辺のクリーンアップ活動

地域イベントへの協力

地域で行なわれるイベントに協力しています

1. 豊洲フェスタ

豊洲フェスタは、公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団が、豊洲地域の企業や団体と地域の方々との交流のために毎年秋に開催しているイベントです。当社グループは、2005年度から毎年、子どもたち向けにICTを身近に感じてもらえる機会を提供しています。

2. 豊洲湾岸まつり

2016年11月に行なわれた「江東湾岸祭り2016」のトークショーに、日本ユニシス実業団バドミントン部のコーチと選手4名が協力しました。



バーチャル・バドミントンゲームで
トップアスリートと対戦

地域販売会の実施

江東区内の障がい者通所施設で作られた製品の販売会を定期的の実施しています。

販売は、施設利用者の方々とボランティア社員が合同で行い、交流の場ともなっています。



販売会風景

コミュニティとのかかわり

社員による自発的な社会貢献活動

社会貢献クラブ「ユニハート」

「ユニハート」は、社員の自発的な社会貢献活動の推進を奨励し、社会に貢献することを目的に2006年に設立しました。会員は961名(2017年3月末日現在)。会員自らが企画・運営を行うチャリティイベントや、NPO等への寄付など幅広く活動しています。



■ユニハート寄付先NPO等(2016年度)

No	団体名	主な活動地域
1	マルチメディア振興センター	全国
2	江東ウィズ	東京都江東区
3	札幌市手をつなぐ育成会	北海道札幌市
4	視覚障害者パソコンアシストネットワーク (SPAN)	全国
5	シティ・ライツ	全国
6	シネマ・アクセス・パートナーズ	全国
7	シャプラニール＝市民による海外協力の会(子どもの夢基金)	南アジア
8	東京盲ろう者友の会	東京都
9	日本盲導犬協会	全国
10	ファミリーハウス	全国
11	福岡中失難聴者支援福祉協会	福岡県
12	ブリッジ・フォー・スマイル	全国
13	わんぱくクラブ育成会	東京都世田谷区

ヴァイオリニスト川島成道氏とのパートナーシップによる活動

川島成道氏は、英国と日本を拠点に、国内外でソリストとして精力的な活動を展開しているヴァイオリニストです。デビュー当初より音楽活動の傍ら、積極的に国内外でチャリティコンサートを行い、高校の現代文の教科書に文章が使用されるなど、社会派アーティストとして多方面に影響を与えています。

日本ユニシスグループは、川島氏の医療・福祉・教育分野における活動に共感し、1998年のデビュー時からオフィシャルパートナーとして応援し続けています。コンサートでの社員ボランティア活動は、「コミュニティへの参画およびコミュニティの発展」に寄与する社会貢献活動として、また、当社の企業理念に掲げる「社員の社会の期待と要請に対する感性を磨く」ための人材育成の一環として行っています。

●コンサート協賛実績

- ・川島成道グランドファミリーコンサート2016 2016年5月29日 紀尾井町ホール(動員527人) 2002年より通算15回目
- ・川島成道チャリティプログラム 2016年9月24日 宗次ホール(名古屋)、2017年2月4日宗次ホール、3月2日札幌コンサートホールKirata小ホール、3月25日紀尾井ホール(総動員数1484人)
- ・日本ユニシス・プレゼンツ川島成道ニューイヤーコンサート 2017年1月28日 紀尾井ホール(動員667人) 冠協賛

●地域貢献イベント実績

日本ユニシス・プレゼンツ川島成道チャリティコンサート
2016年11月16日 豊洲シビックセンターホール(動員290人) 地域住民の方々、社員とその家族を対象として実施。

●“新しい視点”の社会貢献活動

2015年度からは、日本ユニシスグループのコーポレートステートメント'Foresight in sight®'(先見性と洞察力)を意識した新しい試みを川島さんとともに企画しています。

●コンサートにおける社員ボランティア

ニューイヤーコンサートには、視覚障がいのある方々をご招待し、社員ボランティアが自宅送迎を含む誘導サポートを行っています。ご招待者は累計約1800名、社員ボランティアは累計400名を超えました。素晴らしい音楽に触れ、感動と安らぎを覚えることができ、ボランティアとして参加した社員にとっても、自らが社会の一員であることを意識し多くのことを学ぶ貴重な機会になっています。

●NPO等との協働

視覚障がい者の社会参加を支援するため公益財団法人日本盲導犬協会の訓練犬がコンサート会場に慣れるための訓練の場として提供し、募金14万9783円を寄付しました。



音声パンフレットを聞く来場者



コンサートを聞く訓練犬

●ICTを利用した障がい者支援

ICTで広がる世界を楽しんでいただくため、“二次元バーコード”から川島さんのスペシャル動画にアクセスできるプレゼントの提供や、点字・大きな文字のパンフレットに加え、“音声パンフレット”を提供しました。



<http://www.kawabatanarimichi.jp/>

日本ユニシス実業団バドミントン部

日本ユニシス実業団バドミントン部は、世界ランキング1位(※)の女子ダブルス高橋礼華・松友美佐紀をはじめとする日本を代表する選手が所属する男女チームです。

2000年シドニーオリンピックから5大会連続で日本代表選手を輩出し、国内では2017年の実業団選手権大会において2度目の男女同時優勝を果たしました。

また、本社の所在する東京都江東区内の小学・中学・高校生をはじめとする多くの子どもたちを対象にバドミントン講習会を開催し、バドミントンの楽しさを積極的に伝えとともに、スポーツを通じた青少年の健全な育成に寄与していきたいと考えています。

2014年8月には、東日本大震災復興支援の一環として、岩手県上閉伊郡大槌町で子どもたち向けのバドミントン講習会を実施しました。

※2017年7月27日現在



<http://www.unisys.co.jp/com/sponsors/badminton/>

被災地支援

東日本大震災復興支援活動

- ・2012年4月から2015年9月まで、2名の技術者を岩手県上閉伊郡の大槌町役場に派遣し、ICTによる町の復興支援業務のお手伝いを致しました。
- ・日本ユニシス実業団バドミントン部は、2014年8月に大槌町で次世代育成支援の一環として、子どもたち向けのバドミントン講習会を実施しました。
- ・日本ユニシスグループ社会貢献クラブ「ユニハート」は、2011年度から継続して東日本大震災復興支援活動を行なっている団体に寄付を実施するほか、社内でチャリティ販売会等を実施しています。



熊本地震募金よびかけ

2016年熊本地震に関する支援活動

- ・役員および従業員から義援金を募る活動を実施し、会社としての「マッチングギフト(※)」を合わせて200万円を社会福祉法人 中央共同募金会に寄付しました。
- ・日本ユニシス実業団バドミントン部が、街頭で募金活動を実施し、集まった157,253円を日本赤十字社に寄付しました。
- ・熊本の商品販売会(社内マルシェ)を行ないました。

(※)「マッチングギフト」とは、企業や団体などが社会貢献を目的として寄付や義援金を募る際、寄せられた金額に対して企業側が寄付金額を増やした上で寄付する上乗せ贈与制度のこと。



e-ネットキャラバンへの社員派遣

「e-ネットキャラバン」は、子どもたちが携帯電話やスマートフォン、インターネットを安全に利用できるように、子ども・保護者・教職員を対象とした啓発活動です。

一般社団法人マルチメディア振興センターが運営、総務省・文部科学省支援のもと、情報通信分野などの多くの企業・団体が協力して、全国で「e-ネット安心講座」を実施しています。

当社グループは、「e-ネットキャラバン」の活動趣旨に賛同、2006年4月の設立当初から参加し、講師認定講習会を受講したグループ社員を講師として継続して派遣しています。



「e-ネット安心講座」の様子

宮城県亘理郡山元町では、日本ユニシスグループの社員とOBが数回にわたり「e-ネット安心講座」を実施しています。

日本ユニシスグループでは、震災直後より、子どもたちへの児童図書への支援、山元町で作られた製品の当社での販売会の実施、社員の現地訪問など、継続して交流を行っています。

海外インターンシップへの協力

独立行政法人 国立高等専門学校機構が主催する、海外インターンシップに協力、2013年から高等専門学校生をUSOLベトナム（有）で受け入れ、3週間にわたる就業体験プログラムをサポートしています。

海外インターンシップとは

国立高等専門学校機構では、国際的に活躍できる実践的技術者養成を目的とした「海外インターンシッププログラム」を2008年度から行っています。このプログラムは、企業との共同教育の一環として、学生が国際的に展開する企業の現場を直接見て実際に業務を体験することにより、異文化理解やコミュニケーション能力などの国際感覚を養うことを目的としています。

社会貢献パフォーマンスデータ

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
社会貢献活動支出額※	44百万円	43百万円	44百万円	31百万円	25百万円
社員による寄付総額	4,516,346円	4,329,223円	4,927,856円	4,401,251円	5,181,764円
社会貢献活動休暇取得者数	4名	5名	4名	7名	3名
社員の社会貢献活動参加人数	562名	565名	581名	457名	611名

※東日本大震災復興支援活動として、2012年4月～2015年9月まで大槌町役場に社員を派遣した費用を含む
集計範囲：連結グループ、および非連結子会社

日本ユニシス株式会社

〒135-8560

東京都江東区豊洲 1-1-1

広報部 PR室

URL: <http://www.unisys.co.jp/csr>

TEL: 03-5546-4111（大代表）